令和2年度志摩市創生総合戦略 【基本目標評価シート】

■政策分野　1）ひとの育成

■基本目標 「地域で活躍する人を育てる」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

地域の自然や伝統・文化に誇りを持ち、地域の発展に意欲を持って取り組み、活力ある地域づくりの推進力となり、また、情報化や国際化といった時代の変化にすばやく対応し、新しい発想で地域のあり方を考えることができる人材を育てる。
いつまでも健康的・文化的に暮らし、まちを維持するための地域活動などのボランティア活動に参加する人材を育てる。

■数値目標の進捗状況

指標（出典）	基準値	目標値
地域に誇りを持っている市民の割合（市民アンケート）	71.5% H30（2018）	80.0% R6(2024)

目標値（R2）	目標値（R3）	目標値（R4）	目標値（R5）	目標値（R6）
72.0%	74.0%	76.0%	78.0%	80.0%
実績値（R2）	**実績値（R3）**	**実績値（R4）**	**実績値（R5）**	**実績値（R6）**
63.3%	－	－	－	－

評価と今後の方向性（課題と改善案）		
	B	令和3年2月に実施した「志摩市まちづくりアンケート調査」によると、「志摩市に愛着や誇りを感じる」または「どちらかというと感じる」市民の割合が63.3%と、目標値を達成できなかった。 目標値は達成しなかったものの、10歳代では70%、20歳代では80%を超えており、地域に誇りを持ってもらう教育の成果は出ている。今後は、引き続き施策を実施するとともに、地域への誇りや愛着が、将来的な定住やIJUターンなど、若者の移住・定住へとつなげていく。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1)-1	地域とつながる教育の推進	自分の住んでいる地域が好きだという中学生の割合	目標値	65.3%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
			実績値		95.4%				
			達成度		A				
1)-1	地域とつながる教育の推進	将来は地域に暮らしていたいという高校生の割合	目標値	77.5%	78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%
			実績値		54.0%				
			達成度		C				
1)-2	未来を創る人材を育む教育の推進	情報化に関心のある児童・生徒の割合	目標値	－	72.0%	74.0%	76.0%	78.0%	80.0%
			実績値		60.0%				
			達成度		B				
1)-2	未来を創る人材を育む教育の推進	国際化に関心のある児童・生徒の割合	目標値	－	64.2%	65.6%	67.1%	68.6%	70.0%
			実績値		75.1%				
			達成度		A				
1)-3	市民主体のまちづくり支援	地域活性化の取組みに参加している市民の割合	目標値	24.7%（R1）	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%
			実績値		22.9%				
			達成度		D				
1)-4	生涯学習・スポーツの推進	全国大会壮行選手数（延べ）	目標値	43人	45人	47人	49人	51人	53人
			実績値		2人				
			達成度		D				

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1)-5	健康づくり・介護予防の推進	志摩市の健康寿命（みえの健康指標）	目標値	男76.1歳（H29 ） 女81.6歳（H29）	77.90歳 80.90歳	78.50歳 80.99歳	78.70歳 81.02歳	78.90歳 81.05歳	79.10歳 81.08歳
			実績値		77.1歳（R1） 80.6歳（R1）				
			達成度		B				

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域とつながる教育の推進」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

市内小・中学校の児童・生徒が、地域のことについて知る機会を持つとともに、地域で働く人と触れ合うことで、地域で働いて暮らすことについて考える機会を作る。また市内高校の生徒が授業や部活動を通じて、地域への関心を高める取り組みや地域で活躍する機会の創出を支援する。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
1)-1	地域とつながる教育の推進	自分の住んでいる地域が好きだという中学生の割合	目標値	65.3%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	A	「中学生未来づくり教室」の際に実施したアンケートによると、「自分が住んでいる地域が好き」「どちらかと言えば好き」と回答した中学生が全体の9割を超える結果となり、数値が大きく上昇した。この効果を継続させるため、引き続き全中学校での実施と、小学校での実施に向け調整を行う。
			実績値		95.4%						
			達成度		A						
1)-1	地域とつながる教育の推進	将来は地域に暮らしていたいという高校生の割合	目標値	77.5%	78.0%	78.5%	79.0%	79.5%	80.0%	C	市内の県立高校2校にて実施したアンケート調査によると、市内に住み続けたいまたは将来的には市内で暮らしたいと答えた生徒が54%と目標値を下回る結果となった。傾向としては、一度は市外へ出たいと思う割合が高く、Uターンニーズを把握し、施策を検討する必要がある。
			実績値		54.0%						
			達成度		C						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
児童・生徒の地方創生参画推進事業	総合政策課	・市内の中学校の中学生を対象とした地方創生に関する説明会（中学生未来づくり教室）を実施。説明会の他、地域の方をゲストティーチャーに迎え、仕事や働くこと等について、パワーポイントを用いて説明を実施した。 ・令和2年度実績　市内4校で実施	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全校で実施できなかったものの、令和元年度より市内の全中学校を対象として実施している。 さらなる効果を出すために、複数回実施する、内容を見直す、小学校で実施する等の改善を検討している。
県立高校の魅力向上事業	総合政策課	・志摩高校、水産高校の両校それぞれと協議会を開催し、活性化について検討を行ったほか、活性化計画に係る活性化プランとして、市内中学校での出前講座等を実施した。 また、志摩高校での「志摩学」の実施や、水産高校ボニータの新商品お披露目会への協力など、生徒が地域に誇りを持つ教育の推進や、生徒が活躍する機会の創出を実施した。	高校の魅力を地域へ伝えることは一定の成果が見られるものの、高校生自身が地域で暮らしたいと思うことにはつながっていない。 そのため、情報発信だけでなく、高校生が地域に関与する機会を創出し、地域活性化を担う人材を育成することへとつなげていく必要がある。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
志摩市の食材を活かした食育推進事業	教育総務課	・各小学校に1回、全7回を計画したが、新型コロナウィルス感染拡大防止対策の関係で、3回のみ行った。（浜島小（7月７日）、志摩小（11月18日）、鵜方小（12月16日） ・おさかなレシピ　2回配布。	給食用に使用する志摩市産の食材の確保が難しく、献立のマンネリ化が懸念されるため、農協や漁協等と連携することで新たな食材の発掘等充実させたい。
中学生職場体験事業	学校教育課	・新型コロナウィルス感染拡大防止対策のため、各事業所においての職場体験学習は中止した。	今年度も各事業においての職場体験学習は実施することが難しいと判断し、各校で講師を招いての取組を進めていくことを確認した。商工会と講師の選定等の連携を進め、より幅広い職種に広げていきたい。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「未来を創る人材を育む教育の推進（改訂前：時代に対応した教育の推進）」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

情報化や国際化などの新しい時代に対応するための学校教育環境を整えるとともに、外国語指導助手（ALT）や国際交流員（CIR）の活用、中学生の海外派遣や高校生等の海外留学支援を行うなど、地域のグローバル人材の育成を図る。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
1)-2	未来を創る人材を育む教育の推進	情報化に関心のある児童・生徒の割合	目標値	－	72.0%	74.0%	76.0%	78.0%	80.0%	B	小学校と中学校の一部で出前授業等によるプログラミング学習を行ってきたことにより、児童生徒の情報化への関心も高まってきたと考えられる。令和2年度に1人1台タブレットを整備したことにより、更にICT機器の活用の機会を増やして関心を高めていく。
			実績値		60.0%						
			達成度		B						
1)-2	未来を創る人材を育む教育の推進	国際化に関心のある児童・生徒の割合	目標値	－	64.2%	65.6%	67.1%	68.6%	70.0%	A	今後もALTの質の維持・向上をはかり、英語科を担当する教員の協働を深めることによって、児童生徒の異文化理解やコミュニケーション能力の向上につなげる。
			実績値		75.1%						
			達成度		A						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
学校ICT環境整備事業	学校教育課	・児童生徒等1人1台タブレット端末の整備 児童生徒2,367台、教職員（通常学級分）126台・（特別支援学級分）18台を追加購入 ・家庭内ネットワーク環境整備に向けてモバイルWi-Fiルータ720台を購入 ・学習支援ソフト等及び設定業務　102,156,945円 ・情報通信ネットワーク等環境整備 各小中学校内のネットワーク環境等の整備　44,440,000円	各小中学校でのICT環境の充実を図るため、ネットワーク環境の安定を維持していくとともに、ネットワーク環境が未整備の家庭にはWi-Fiルータの貸し出しを行っていく。
外国語指導助手派遣事業	学校教育課	以前から中学校では有効に活用されてきたが、とりわけ小学校での英語学習において教師の授業づくりに寄与し、児童の学習意欲の向上につなげることができた。	今後もALTの質の維持・向上と英語科を担当する教員の協働を深めることによって児童生徒のコミュニケーション能力の向上につなげる。
中学生海外派遣事業	学校教育課	新型コロナウィルス感染症の拡大により、令和2年度は事業を実施しなかったため、実績なし。	事業実施にあたっては、世界的に新型コロナウイルス感染症が収束する必要があるので、ICTを利用した遠隔での国際交流と実際の海外派遣を組み合わせることで充実した国際交流を模索していく。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
海外留学応援奨学給付事業	教育総務課	新型コロナウィルス感染症の拡大により、令和2年度は事業を実施しなかったため、実績なし。	新型コロナウィルス感染症の世界的な拡大により、渡航先の受け入れできない等の問題があるため、このウィルスの蔓延が沈静化しないと事業の実施も難しいと考える。
学校図書館支援員配置事業	学校教育課	4名の学校司書(学校図書支援員)を配置しており、整備が遅れていた中学校での図書館環境が向上し、小学校では読み聞かせや授業利用など児童と関わった読書活動が推進されつつある。	蔵書の管理のデジタル化化をはじめとする学校図書館の環境整備を着実にすすめるとともに、子どもたちの図書館利用を直接支援する機会を増やしていく。
未来といのちの特別授業事業（夢の教室）	学校教育課	ロンドンオリンピック・バドミントン銀メダリスト、藤井瑞希選手を夢先生として迎え、夢教室を実施。夢先生の人生を語り、夢をもつきっかけから、挫折や失敗の経験、そして、実現に向けた夢トークを展開。また、児童の夢シートの記入とともに、それぞれの夢を語り合った。	新型コロナ感染拡大予防のため、オンラインでの実施となった。夢先生と直接ふれあうことができなかった。人と人が真剣なことを伝え合うという点で、リアル感を出すためのオンライン上の工夫が必要と考える。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「市民主体のまちづくり支援」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

地域の若者が主体的に取り組む地域おこし・イベント等の支援や、市民団体と協働することを通して、地域活動の活性化を図ることで、地域の人たちが「住んでよかった」と思える地域をつくるとともに、将来の地域を担うリーダーとなる人材の育成を図る。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
1)-3	市民主体のまちづくり支援	地域活性化の取り組みに参加している市民の割合	目標値	24.7%（R1）	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	D	「志摩市まちづくりアンケート調査」により、「地域の活性化につながる取り組みに参加した」と回答した市民は22.9%と基準値を下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、様々な取り組みが中止となったことも原因の一つとは考えられるが、年代、地域別にみても全体的に低くなっており、幅広い世代が参加できる仕組み作りが必要である。
			実績値		22.9%						
			達成度		D						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
若者の集いと出会い支援事業	総合政策課	【補助金交付】 おしごとできるもんジョブタウン（11/3　志摩市商工会館）補助金　100,000円	補助金ありきのイベントとなってしまわないよう、令和元年度に制度の在り方について検討を行い、令和2年度実施分から、イベントの内容に応じて補助上限額を20万円又は10万円とする見直しを行った。今後、新しいイベントが企画又は実施されるよう制度の活用を促していく必要がある。
心豊かな暮らしを育む人材育成事業	総合政策課	波切ライフスタイル変革プロジェクトのワークショップ（会議）へ出席し、助言等を行った。 【開催状況】 第1回　8/5　第2回　11/12　第3回　12/17　第4回　3/10	先進地では、持続的に取り組みを行っているが、別の地域へどのように横展開していくかが課題となっている。 令和2年度の波切ライフスタイル変革プロジェクトの会議に、別の地域で同様の組織を立ち上げたいと傍聴として参加していた団体もあったため、先進事例をモデルとし、別の地域へも広げていく。
協働事業提案制度	人権市民協働課	採択事業：志摩市観光に関するボランティアガイド等の活動 採択団体：志摩の国・案内人 協働事業実施担当課：産業振興部　観光課	制度の概要について、市の補助金制度に基づくため、市民が理解しにくい点もあり、今後の周知や説明方法を見直す必要がある。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「生涯学習・スポーツの推進」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

誰もが生涯学習に取り組み、スポーツに親しむことのできる環境を整備する。また、全国大会に出場するなど、活躍した優れた選手や団体を表彰、奨励することで、市の文化・スポーツの水準の向上を図る。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
1)-4	生涯学習・スポーツの推進	全国大会壮行選手数	目標値	43人	45人	47人	49人	51人	53人	D	新型コロナウイルス感染症感染拡大により全国大会等中止が相次いぎ、出場機会が激減した。今後は、市内で全国大会などの高いレベルで指導できる環境整備が必要である。
			実績値		2人						
			達成度		D						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
スポーツ振興補助金事業	生涯学習スポーツ課	市のスポーツ振興を担う団体及び全国大会等へ出場する選手に対し活動支援を行うため補助金の交付を行った。 ・市体育協会補助金　2,247,110円 ・市スポーツ少年団補助金　1,620,000円 ・スポーツ文化全国大会等出場激励金　10,000円　（個人2件・団体0件）	新型コロナウイルス感染症感染拡大により全国大会等中止が相次いぎ、出場機会が激減した。 今後は、市内で全国大会などの高いレベルで指導できる環境整備が必要である。
文化振興関係補助金事業	生涯学習スポーツ課	・文化協会補助金　536,083円 文化振興団体の自主的・自立的な活動を支援することを目的に補助金を交付した。 ・文化芸術推進事業補助金　0円 市内で活動する文化芸術を推進する団体を支援するための補助金を新設した。事業計画を募集したが、応募はなかった。 ・スポーツ文化全国大会等出場激励金　0円 全国大会等が開催中止になり、激励金の申請はなかった。	令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により文化芸術イベントや全国大会などが相次いで中止となり、あまり効果は得られなかった。今後、感染拡大が収束すれば成果は上がると考えられる。 志摩市文化協会について、会員数の減少が顕著である。 また、役員が固定化・高齢化しており、団体の運営継続のためには新たな会員獲得や後任者の育成が必要である。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「健康づくり・介護予防の推進」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

市民のライフステージや特性に応じ、各種健（検）診、こころや身体に関する健康相談、生活習慣病の予防や重症化を防ぐための事業を展開するとともに、健康づくりに関して情報発信を行い、健康寿命の延伸を推進する。
また、高齢化の進む中、高齢者一人ひとりがいつまでも元気に日常生活を送ることができるよう、啓発や地域活動等の介護予防に関する取り組みを進める。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
1)-5	健康づくり・介護予防の推進	志摩市の健康寿命	目標値	男76.1歳（H29） 女81.6歳（H29）	77.90歳 80.90歳	78.50歳 80.99歳	78.70歳 81.02歳	78.90歳 81.05歳	79.10歳 81.08歳	B	健康寿命は年により変動があるため、単年ではなく複数年で数値を見る必要がある。 新型コロナウィルス感染拡大状況により事業実施や参加人数に影響があるため、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に合わせて事業を実施していく。
			実績値		77.1歳（R1） 80.6歳（R1）						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
若者の健診事業	健康推進課	30～39歳の過去同健診の未受診者を対象に実施。受診者数91人	令和3年度は同対象で実施するが、参加状況により今後の実施については検討する。
健康ボランティア育成	健康推進課	①食育ボランティア養成講座：修了者数2人 ②運動推進リーダー養成研修会：3回参加者9人 ③母子保健推進員養成講座：0回養成者なし	新型コロナウィルス感染拡大防止により、参加控えもあった。令和3年度以降も新型コロナウィルスの状況により養成を検討する。
市民健康診査	健康推進課	健（検）診予約のウェブ割合(%) 若者の健診74.3%、胃がん検診16.7%、子宮頸がん検診23.1%、乳がん検診（マンモグラフィ）21.8%、乳がん検診（エコー）33.1%	集団検診ウエブ予約で検診予約の利便性を向上し、検診案内パンフレットの各戸配布で検診の必要性を広く市民に周知していく。
各種健康づくり事業	健康推進課	延べ人数 ①健康相談：40～64歳　随時相談9件、　電話相談1件、問い合わせ23件、療養上指導38件 65歳以上　定期相談7件、電話相談5件、問い合わせ35件 ②健康教育：こころの健康づくり講演会1回48人、ゲートキーパー養成講座1回23人、出前健康教育市民団体向け3回94人、関係機関向け19回566人、喫煙防止健康教育5校215人、食事のとり方講座2回5人、 ③健康づくりマイレージ事業：登録134人 ④運動推進事業：元気づくりウォーキング講座8回39人、運動推進出前講座1回11人	新型コロナウィルス感染拡大防止により事業の中止が多かった。今後も新型コロナウィルスの状況により実施を検討する。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
介護予防ボランティアポイント事業	介護・総合相談支援課	① 介護予防ボランティアポイント事業活動員登録者数：402名 ② 介護予防ボランティアポイント事業活動員受入施設・事業所登録数：92施設 ③ 協賛企業・店舗数：10店舗 ④延べ活動者数：2,765人（令和2年1月1日～12月31日活動期間分）	高齢者自身の介護予防や地域での活動の場や社会参加の機会の確保も目的としているため、ボランティア活動をしていない人やあまり興味のない人など、広く市民全体に周知を行っていきたい。
介護予防普及啓発事業	介護・総合相談支援課	・貯筋・健脚運動推進事業：第5期高齢期の運動指導者養成講座　6回　修了者18人 、高齢期の運動指導者フォロー研修　1回　参加者61人 ・介護予防教室：　18回　253人参加（延べ） ・その他普及啓発：介護予防に関するリーフレットや地域包括支援センターチラシを民生委員の高齢者見守り活動時に配付を依頼し、相談につないでもらう。 ・認知症早期発見・早期対応事業：頭いきいき相談会　年6回　15人参加、随時相談　2人、物忘れ予防教室　6回　77人参加（再掲：介護予防教室）	貯筋・健脚運動推進事業については高齢期の運動指導者を今後も継続して養成・支援することで、健脚運動定例実施地区の新規立ち上げを促進していく。 介護予防教室、認知症早期発見・早期対応事業について、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、より効果的な普及啓発方法となるよう工夫しながら実施していく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【基本目標評価シート】

■政策分野　2）ひとの確保

■基本目標 「地域を担う人の数を維持する」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

人口ビジョンで描いた将来展望の人口を目指し、地域の人口減少に歯止めをかけるための対策として、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うとともに、地域外からの移住者を呼び込み、定住者を増やす。
また、移住した「定住人口」でも観光に来た「交流人口」でもない、「関係人口」に着目し、地域外からの交流の入り口を増やし、担い手確保につなげる。

■数値目標の進捗状況

指標（出典）	基準値	目標値
合計特殊出生率の向上（みえの健康指標）	1.46 H29（2017）	1.62 R4(2022)

目標値（R2）	目標値（R3）	目標値（R4）	目標値（R5）	目標値（R6）
1.56	1.59	1.62	1.62	1.62
実績値（R2）	**実績値（R3）**	**実績値（R4）**	**実績値（R5）**	**実績値（R6）**
1.48(R1)	－	－	－	－

社会減の抑制（人口動態調査）※転入数−転出数	△360人／年 H30（2018）	△50人／年 R6(2024)

目標値（R2）	目標値（R3）	目標値（R4）	目標値（R5）	目標値（R6）
△250	△200	△150	△100	△50
実績値（R2）	**実績値（R3）**	**実績値（R4）**	**実績値（R5）**	**実績値（R6）**
△297人	－	－	－	－

評価と今後の方向性（課題と改善案）	B	令和3年6月に三重県が発表した「令和元年三重県の人口動態」によると、令和元（2019）年の県内の合計特殊出生率は1.47で前年の1.54を0.07下回った。志摩市は、1.48で、前回（平成30（2018）年）の1.40を0.08上回り、改善の兆しを見せたものの、厚生労働省が令和3年6月に発表した2020年の人口動態統計によると全国の合計特殊出生率は1.34と、前年から0.02ポイント下がり、5年連続の低下となった。 この数値は、2007年（1.34）以来の低水準となっており、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2021年には一段と低下する可能性が高いとされており、本市においても、低下が予想される。 一方で、新型コロナウイルスの影響により、地方への移住に関する関心の高まりとともにテレワークを機に人の流れに変化の兆しがみられるなど、国民の意識・行動が変化しており、移住者数や社会減には改善がみられる。令和3年度以降については、ワーケーションの推進など、時代や生活様式の変化に対応した施策を展開し、関係人口の創出を図り、人口増加へとつなげていく。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
2）−1	出会い・結婚への支援	事業を通じて成立したカップル数の累計	目標値	5組	5組	10組	15組	20組	25組
			実績値		3組				
			達成度		C				
2）−2	親と子の健康支援	からだや気持ちの状態が良い保護者の割合	目標値	83.5%	84.5%	85.5%	86.5%	87.5%	88.5%
			実績値		88.3%				
			達成度		A				
2)−3	保育体制の整備・充実	幼児教育・保育の環境やサービスに満足している保護者の割合	目標値	－	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
			実績値		79.4%				
			達成度		B				

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
2)-4	移住・定住の促進	制度または相談を通じて移住した人数の累計	目標値	22人	35人	70人	105人	140人	175人
			実績値		45人				
			達成度		A				
2)-5	関係人口の創出	市と包括連携協定を結んだ大学等の数の累計	目標値	4者（R1）	5者	6者	7者	8者	10者
			実績値		4者				
			達成度		B				
2)-5	関係人口の創出	ワーケーションで訪れた事業者数の累計	目標値	0件	－	5件	10件	20件	30件
			実績値		－				
			達成度		－				

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「出会い・結婚への支援」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

結婚を希望する人に対し、県が設置する「みえ出逢いサポートセンター」等と連携し、出会いの場の情報提供、出会いや結婚に関する相談、結婚に関するセミナーなどの開催を行う。また、より多くの出会いの場を創出するため、出会い・婚活イベントを主催する団体の支援等を行う。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
2)-1	出会い・結婚への支援	事業を通じて成立したカップル数の累計	目標値	5組	5組	10組	15組	20組	25組	C	令和2年度に実施した出会いイベントでは、定員を上回る男性の応募があり、市内におけるニーズがあることが分かった。 今後は、民間での婚活イベントの実施の支援や、県や近隣市町とも連携し、より多くの出会いの場の創出を図る。
			実績値		3組						
			達成度		C						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
若者の集いと出会い支援事業	総合政策課	【補助金交付状況】 おしごとできるもんジョブタウン（11/3　志摩市商工会館）100,000円	例年、補助金への応募はあるものの、一部、固定化しているものもあり、新たなイベントが開催されるような取り組みが必要である。 また、婚活イベントについて増額したものの、応募がなく、イベント企画段階での支援も検討する必要がある。
出会いイベント開催事業	総合政策課	【事業実施状況】 出会いイベント「しま恋」の開催（3/13　安乗岬園地休憩舎）委託料　264,000円	出会いイベントの応募条件として、男性については市内在住に限っていたが、応募が定員を上回る状況であったことから、市内で同様のイベントのニーズがあることが分かった。今後は、地域の資源を活用し、魅力的なイベントとすることにより、市外からの女性の参加者を増やしていく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「親と子の健康支援」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

妊娠期からの途切れのない支援に取り組み、母子保健のさらなる推進を図る。育児に対する不安を軽減し、子育て世代が安心して出産、育児ができるよう、相談体制を充実し、子どもの健やかな成長のため、健診や予防接種を行うとともに、子どもと親の健康に必要な情報の提供及び発信を行う。また、子どもの医療費や不妊治療費などの経済的な負担軽減を行う。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
2)-2	親の子の健康支援	からだや気持ちの状態が良い保護者の割合	目標値	83.5%	84.5%	85.5%	86.5%	87.5%	88.5%	A	目標値は達成したが、コロナ禍の母子保健への影響は大きく、地域・家族とつながった育児環境の確保が難しい妊産婦や、治療が必要な産後うつに陥る産婦もいる。経済状況の悪化や気分転換活動の不足からストレス負荷が大きい事例もあり、母子保健事業の中でも引き続き保護者の心身の状態に配慮していくことが重要である。
			実績値		88.3%						
			達成度		A						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
子育て世代包括支援センター事業	健康推進課	令和2年度から、妊娠期から子育期を通じて、妊婦や子育て中の母親、父親、家族をサポートする窓口として設置。 [令和2年度実績] 産婦健康診査助成(産婦1人につき2回まで)：延べ291人　実人数167人 産後ケア事業：0人 産前・産後サポート事業：0人 離乳食教室：4回　参加者14人	令和2年度から子育て包括支援センターで母子手帳交付を行い、妊娠早期から支援を計画し、保健センターと連携して妊産婦支援や母子保健事業を実施した。令和2年度は産後ケア事業の利用がなかったが令和3年度は既に利用者がおり、コロナ禍に影響された孤独感のある出産や産後の支援が得にくい産婦、産後うつが心配な事例もあり、妊娠期からの関係づくりと産後支援の必要性が高まっている。令和3年度も保健センターと連携して事業を展開し、個別性の高いニーズに対応した支援を並行して実施していく必要がある。
妊娠希望者等風しんワクチン任意接種費用助成事業	健康推進課	妊娠を希望する女性や、その同居家族等へ風しんワクチン等予防接種の費用助成を行った。 [令和2年度実績] 風しん予防接種費用助成：27人	妊娠中の検査で抗体が低いことを知る妊婦もおり、産後すぐに産院で予防接種をうって次回妊娠に備える事例もあった。妊娠初期の風しん罹患は、先天性風疹症候群を引き起こす恐れがあり、今後も制度の周知を強化し、助成を継続していく必要がある。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
妊産婦及び乳幼児健康診査	健康推進課	母子保健法にもとづく健康診査として、妊婦健診、乳幼児健診を実施した(産婦健診については、上記子育て世代包括支援センター事業として表記)。 [令和2年度実績] 妊婦健診受診者数(1回～14回):延べ2,215人　　県外助成:9人 4か月児健診受診者数:182人 10か月児健診受診者数:189人 1.6歳児健診受診者数:225人 3歳児健診受診者数:231人	妊婦健診については1回目～14回目までの健診費用を助成し、里帰り出産等の県外受診については償還払いによる助成を実施した。乳幼児健診については、健診で要指導等となった乳幼児の支援経過を志摩医師会主催の乳幼児健診委員会で報告し、その後の支援強化やその他の母子保健業務に関する情報交換を行った。健診による疾患等の早期発見は、早期支援に重要であり、健診を受診しやすい環境づくりのためにも事業を継続していく。
各種母子保健事業	健康推進課	母子保健事業として乳幼児の訪問や相談、出前講座などを実施した。 [令和2年度実績] 赤ちゃん訪問:174人(訪問132人、来所9人、訪問資料ポストイン33人) 随時訪問(フォロー児等):延べ36人 7か月児相談　来所開催:9回　147人、電話開催:3回　58人、訪問対応:3人 乳幼児相談(定期):40回　延べ463人	新型コロナ感染拡大予防の観点から、地域の感染状況に応じて事業の実施方法をその都度検討し、3密を避ける工夫を取り入れながら事業を継続した。コロナ禍で事業による感染を不安に思う対象者もおり、個別のニーズになるべく対応する形で相談を継続した。引き続き、感染予防対策を行い、状況に応じて対策を強化しながら、なるべく直接的な相談対応を継続していく必要がある。
子ども医療費助成事業	保険年金課	中学校終了までの子ども（15歳になる年の年度末）に対し、医療費の自己負担額を助成した。なお、未就学児に対しては、現物給付（窓口無料化）により助成を実施した。	引き続き、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子育てしやすい環境を整備する。
不妊治療費助成事業	健康推進課	総合的な少子化対策の一環として、特定不妊治療、一般不妊治療及び不育症の治療費を助成した。 [令和2年度実績] 志摩市特定不妊治療費助成:延べ13人 志摩市一般不妊治療助成:6人 志摩市不育症治療費助成:0人	令和3年度から大幅に制度が変更され、これまで対象外だった事実婚での制度利用や所得制限の撤廃など、対象者が拡大された。主に経済的な支援を目的とした事業だが、不妊による悩みを抱える対象者も多く、申請に際しては相談しやすい雰囲気づくりや、複雑な制度に対する丁寧な説明を心がけて事業を継続していく必要がある。
出産祝金支給事業	こども家庭課	令和3年度開始事業（令和2年度は実績無し）	安心して子どもを産み育てられるように保護者を支援する観点から、令和3年4月1日以降に出生した児童の保護者に対して、出産祝金を支給する。 第2子:200,000円　　第3子以降:300,000円

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「保育体制の整備・充実」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

延長保育や預かり保育、病児保育等、各家庭の状況に応じた保育体制を整えるとともに、昼間保護者のいない家庭を対象に放課後における児童の健全指導を行い、遊びを通しての健全育成を図る。また給食費無償化といった保護者の負担軽減も含めた保育環境の充実を進める。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
2)-3	保育体制の整備・充実	幼児教育・保育の環境やサービスに満足している保護者の割合	目標値	－	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	B	安全・安心に配慮し、子ども一人ひとりの発達や個性に応じた保育を心掛け、毎日喜んで通ってきてくれることを目指します。
			実績値		79.4%						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
給食費無償化事業	こども家庭課	3歳児から5歳児の給食費を無償化した。	無償化によって、保護者の金銭面での負担を減らすことにより子育て環境の充実に寄与することができるため、事業を継続する。
延長保育・預かり保育事業	こども家庭課	保育標準時間（11時間）以外での利用を希望する保護者に延長保育を、幼稚園標準時間（5時間30分）以外での利用を希望する保護者に預かり保育を実施した。	共働き世帯や親の介護等で保育標準時間の延長保育や幼稚園標準時間外の預かり保育を実施することにより共働き世帯等の子育て支援につながるため、継続して実施する。
放課後児童クラブ事業	こども家庭課	小学校等の余裕教室の活用を検討し、大王放課後児童クラブを大王小学校屋内運動場2階会議室に移転できるよう協議した。。	今後も小学校等の余裕教室の活用を検討する。 大王放課後児童クラブを大王小学校屋内運動場2階に移転を行う。
民間保育所運営支援事業	こども家庭課	認可を受けた民間保育所に対して、運営費負担金・補助金を交付した。 民間保育所3か所　運営費負担金　294,344,900円　　補助金　22,578,290円	保育の必要性に欠ける児童を養育する共働き家庭等の需要に対応するため、認可を受けた民間保育所に対して支援を行う。
私立幼稚園施設型給付事業	こども家庭課	子ども・子育て支援新制度に基づく施設型給付により、国の公定価格に基づき算定した運営費を負担した。また、一時預かり事業の実施に伴う補助金（幼稚園型）を交付した。 私立幼稚園1か所　負担金　48,380,280円	幼稚園教育を希望する保護者の需要に対応するため、幼稚園施設を運営する事業所に対して支援を行う。在園児童の一時預かり事業についても支援を行う。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
病児保育事業	こども家庭課	子どもが病気やけがの回復期に保護者が勤務等のやむを得ない理由で看護、保育ができないときに適切な療養環境を提供するため、事業を委託した。 委託事業所1か所　運営委託料：7,008,000円	保育施設で預かることができない、病気やけがの回復期に病児保育施設で一時的に預かってもらえることにより、保護者の働きやすい環境を提供する。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「移住・定住の促進」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

都市圏等からの移住希望者に対し、認知度・魅力度を向上させるための情報発信を行い、多くの自治体の中から移住したい場所として選ばれるよう取り組むとともに、実際に移住した方に対する支援を行うことで定住につなげる。また、人口流出対策として、市内に定住する若者への支援も合わせて行う。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
2)-4	移住・定住の促進	制度または相談を通じて移住した人数の累計	目標値	22人	35人	70人	105人	140人	175人	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、地方への移住に関する関心が高まっており、移住相談や空き家バンクへの問い合わせが増えている。移住者の際だけでなく、相談体制の構築など、移住後の支援を充実させることにより、定住へとつなげていく。
			実績値		45人						
			達成度		A						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
移住しやすい志摩づくり事業	総合政策課	志摩市への移住を促進し、定住人口及び交流人口の拡大によりまちの活性化を図るため、また、市の知名度を高めるため、市役所での窓口・電話等による移住相談及び都市部で開催される移住相談会へオンラインでの出展を行った。 また、移住ガイドブックを移住相談会や移住交流施設、観光施設等で配布した。	今後も様々な媒体や機会を捉えて志摩市のPRに努め、移住相談会や移住希望者からのメール・電話での問合せなどがあった際に、移住相談者の状況に応じたきめ細かい相談体制をとることにより、志摩市への移住を促進していく。
若者世代の移住促進事業	総合政策課	年齢40歳未満の若者や中学校卒業前の子どもを持つ世帯で、市内に移住した世帯のうち、市が定める一定の要件を満たした世帯を対象に、移住から1年間（一次産業に就業した場合は3年間）の期間を定めて、毎月家賃の2分の1（上限20,000円）を補助する制度で、年間で17世帯の移住者へ補助を行った。	この制度により、若者・子育て世帯が市内に移住する前の借家の確保に関する経済的な不安を軽減することで、移住を促進し、また、移住後、一定期間経過した後に補助金の申請をしていただくことにより、定住につなげている。
IJUターン促進のための奨学金返済補助事業	総合政策課	・奨学金返済支援補助金（申請者42人）　3,618,000円 ・奨学金返済支援基金残高（令和3年3月末現在）　12,448,018円	よりよい制度となるよう、令和元年度に市内就労要件を撤廃したところ、申請者が増加したことから、限られた基金の財源を継続的に広く多くの方に活用していただけるよう、令和2年度からは個人当たりの通算の交付上限額を60万円とする見直しを行った。 また、申請者へ定住の意向や制度についてアンケート調査を実施し、今後の施策を検討する際の参考としていく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「関係人口の創出」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

地域と多様に関わる人々を指す「関係人口」と呼ばれる、地域づくりに対して貢献したいという想いを持つ地域外の人たちを呼び込み、担い手不足の解消につなげていくことを目指す。まずは関係人口として関わりを持ってもらい、さらに関わりを深めていけるよう、情報発信等を行う。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
2)-5	関係人口の創出	市と包括連携協定を結んだ大学等の数の累計	目標値	4者（R1）	5者	6者	7者	8者	10者	B	令和2年度においては、すでに連携協定を締結している大学との連携事業の実施に留まったが、令和3年6月に「志摩市未来創造プロジェクト」制度を創設し新たなプロジェクトの提案の募集を開始している。 今後は、プロジェクト提案者と連携協定を締結するなど、目標値の達成に向け取り組みを進めていく。
			実績値		4者						
			達成度		B						
2)-5	関係人口の創出	ワーケーションで訪れた事業者数	目標値	0件	－	5件	10件	20件	30件	－	令和3年3月に、株式会社日本航空（JAL）と連携協定を締結し、「関係人口の創出・拡大およびワーケーション推進」に協力して取り組むこととしており、地域おこし企業人プログラム事業を活用し、JALより1名出向者を受け入れ、取り組みを進めている。
			実績値		－						
			達成度		－						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
官学連携研究助成事業	総合政策課	○三重大学産学官ネットワーク支援事業負担金 300,000円 ○官学連携研究助成金 16,186円 ・市民講座「志摩市オリジナルマスク作り講習会」の開催 大阪夕陽丘学園短期大学　16,186円 ・英虞湾におけるマナコ3タイプ（アカ・アオ・クロ）の分布と漁獲量の比較 三重大学　200,000円	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでの手法での実施が困難となり、活用件数が減少したものの、市立図書館の遠隔システムを活用した講座を開催するなど新たな生活様式に対応した事業を実施することができた。今後もICTの活用などを推進するとともに、連携する大学等を増やし、制度の活用による地域課題の解決及び地域の活性化につなげていく。
ふるさと応援寄附金事業	総合政策課	・令和2年度実績 寄附件数　計6,693件（内ガバメントクラウドファンディング15件） 寄附額　計448,459,104円（内ガバメントクラウドファンディング256,000円） 特産品等購入費　計125,674,780円 ふるさと応援基金積立　計441,095,104円	様々な媒体により志摩市への寄附を促すとともに、お中元、お歳暮など、季節に合わせたプロモーションや、富裕層や福利厚生代行企業の会員向けへプロモーションを実施するなど、ターゲットに合わせたPRを実施し、寄附額の増加を図っていく。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
志摩びとの会運営事業	総合政策課	会員に対し、会報「志摩びとだより」を年1回郵送するとともに、「メールマガジン」を年10回送信し、志摩市の情報発信を行った。 また、志摩びとの会の「会員交流事業」として、大阪三重県人会主催の「関西三重県人会」と共催で「志摩びとの会大阪交流会」を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	今後も、幅広く志摩びとの会への参加募集を行い、会員の方との交流を深めるとともに、県人会に集まった方達にも志摩市のPRを行っていく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【基本目標評価シート】

■政策分野　3）まちの発見

■基本目標 「地域の良いところを知り、伝える」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

地域のことを見つめ直し、日常的となって表面化していなかった地域の風景、伝統・文化や地域資源に気づくなど、地域の良さ・魅力をあらためて市民が認識できるようにするとともに、地域のことを考え行動する人々の交流・ネットワークを創出すべく、まちの情報を積極的に発信することで、地域の活性化につなげる。

■数値目標の進捗状況

指標（出典）	基準値	目標値
地域の魅力が語れる市民の割合（市民アンケート）	71.7% H30（2018）	80.0% R6(2024)

目標値（R2）	目標値（R3）	目標値（R4）	目標値（R5）	目標値（R6）
72.0%	74.0%	76.0%	78.0%	80.0%
実績値（R2）	**実績値（R3）**	**実績値（R4）**	**実績値（R5）**	**実績値（R6）**
59.0%	－	－	－	－

評価と今後の方向性（課題と改善案）		
	B	令和3年2月に実施した「志摩市まちづくりアンケート調査」によると、地域の魅力が語れると回答した市民は全体の59.0%に留まり、目標を下回る数値となった。 ホームページのアクセス数やインスタグラムのフォロワー数は順調に伸びており、外部への情報発信は成果が出ているものの、市民が地域の魅力を認識にすることに繋がっていない。 そのため、プラットフォームの創出や他の施策とも連携し、地域内外で交流を活性化し、地域の魅力の掘り起こしと再認識を図っていく。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
3）-1	情報発信の強化	市公式ホームページの年間アクセス数	目標値	465,422件	467,000件	468,000件	469,000件	470,000件	471,000件
			実績値		1,087,493件				
			達成度		A				
3）-1	情報発信の強化	市公式インスタグラムのフォロワー数	目標値	2,483件	5,000件	6,000件	7,000件	8,000件	9,000件
			実績値		5,308件				
			達成度		A				
3)-2	伝統・文化の振興	ユネスコ無形文化遺産・世界農業遺産等への登録数	目標値	0件	0件	0件	1件	1件	1件
			実績値		0件				
			達成度		B				
3)-3	地域資源プラットフォームの創出	具体的な連携に発展したプラットフォームの創出件数の累計	目標値	0件	0件	1件	1件	2件	2件
			実績値		0件				
			達成度		B				
			目標値						
			実績値						
			達成度						
			目標値						
			実績値						
			達成度						

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域のいいところを知り、伝える」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

地域のことを見つめ直し、日常的となって表面化していなかった地域の風景、伝統・文化や地域資源に気づくなど、地域の良さ・魅力をあらためて市民が認識できるようにするとともに、地域のことを考え行動する人々の交流・ネットワークを創出すべく、まちの情報を積極的に発信することで、地域の活性化につなげる。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
3)-1	情報発信の強化	市公式ホームページの年間アクセス数	目標値	465,422件	467,000件	468,000件	469,000件	470,000件	471,000件	A	新型コロナウイルス感染症の関係など、市民が知りたい情報を積極的に発信したことがアクセス数増加に繋がり目標を達成した。 今後も、必要な情報を発信していくほか、整理整頓を行い見やすいホームページの作成に努め利用者を増やしていく。
			実績値		1,087,493件						
			達成度		A						
3)-1	情報発信の強化	市公式インスタグラムのフォロワー数	目標値	2,483件	5,000件	6,000件	7,000件	8,000件	9,000件	A	インスタグラムでイベントの実施や定期的な更新、またインスタグラムで人気のあるフォトジェニックな投稿がフォロワーの増加に繋がり目標値を達成した。 今後も、更新頻度を増やしたりイベントを開催するなどして志摩市の魅力を発信し観光誘客に努める。
			実績値		5,308件						
			達成度		A						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
志摩市広報事業（ホームページ、SNS含む）	秘書課	【ホームページ】新型コロナウイルス感染症情報ページの拡充、ごみの分け方・出し方検索ナビの搭載、まちの話題の定期的な更新、志摩消防本部のページを作成するなどしてホームページの充実を図った。 【インスタグラム】写真投稿で志摩市の特産品などが当たるイベントを実施した。	【ホームページ】必要な情報を届けるため、見やすくわかりやすいページを作成するだけでなく、より探しやすいホームページとなるよう管理する。 【インスタグラム】より多くの人に知ってもらえるPR方法を検討する。
きらり志摩びと紹介事業	総合政策課	市内外の様々な分野で活躍している人や精通している人、また、楽しんで取り組みをしている人を紹介する番組を制作したり、また、「広報しま」で紹介することで、広く市民に周知を行った。 【広報しま】 8人 【行政チャンネル】 2人、新成人の皆さん	掲載したことへの反響や、行政チャンネルのYouTubeの再生回数の伸びなど、周知についての一定の成果は出ている。 令和2年度までは紹介により取材対象を決定していたが、令和3年度は、市内で働く若者を対象とし、市内で頑張る若者や市内での仕事を紹介することにより、「志摩」で働くということを同じ若者へと伝える手法へ変更を行った。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域のいいところを知り、伝える」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

貴重な地域資源である文化財に対する理解を市民が深めることができるよう、文化財の保存を図るとともに情報発信を行うなど、先人から受け継がれてきた伝統文化が守られ、活用されるとともに、新しい文化が生み出されるまちを目指し、伝統・文化の振興に取り組む。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
3)-2	伝統・文化の振興	ユネスコ無形文化遺産・世界農業遺産等への登録数	目標値	0件	0件	0件	1件	1件	1件	B	海女文化のユネスコ無形文化財指定に向けて、継続して取り組みを進めていく。
			実績値		0件						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
文化財保護事業	生涯学習スポーツ課	市所有の文化財建造物を維持するため、風雨災害等により修繕が必要となった建造物の修繕を実施した。	令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により実施できない事業があったが、今後も新型コロナウィルスの感染拡大の影響が想定される。実施の可否を含めた検討を行いつつ実施できる事業を行っていく必要がある。
遺跡発掘調査等事業	生涯学習スポーツ課	・志島・畔名古墳群について、泊古墳及び鳶ヶ巣1号墳の発掘調査を実施した。 ・志島古墳群4号墳（塚穴古墳）の発掘調査で出土した金属製品について、防錆処理、樹脂含浸、樹脂塗布等による強化及び復元等の科学的な保存処理を業務委託により実施した。 ・開発に伴い破壊される遺跡の記録を行うために範囲確認調査を行うとともに、本発掘調査を実施した。	志島・畔名古墳群については、国史跡指定を目指し、更に情報を得るための発掘調査を行う必要がある。志島古墳群4号墳（塚穴古墳）の金属製品については保存処理ができていないものがあるため、それらの保存処理を進める必要がある。また、開発に伴い失われる埋蔵文化財包蔵地の記録を行うための調査を継続する必要がある。 （年度別事業計画） 令和4年度 ： 市内遺跡発掘調査報告書刊行 令和5年度 ： 志島・畔名古墳群発掘調査報告書刊行 令和6年度 ： 市内遺跡詳細分布調査報告書刊行
民俗文化財伝承・活用等事業	生涯学習スポーツ課	平成28年3月2日に有形文化財に登録された「志摩半島の生産用具及び関連資料」3,828点について、資料整備（写真撮影・実測図作成・聴き取り調査、資料調査カード作成、データ入力）を実施し、報告書300部を刊行した。	資料整備報告書の内容をもとに、文化庁の判断により、有形民俗文化財の国指定となる可能性がある。また、収蔵庫の保存環境が整っていないため、保存場所等を検討する必要がある。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域のいいところを知り、伝える」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

様々な知識、経験、技術及びアイデアを有する市内外の人や団体が連携できる場（プラットフォーム）を創出し、地域資源を活かす協働の取り組みを促すとともに、それらの具体的な取り組みを支援する。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
3)-3	地域資源プラットフォームの創出	具体的な連携に発展したプラットフォームの創出件数の累計	目標値	0件	0件	1件	1件	2件	2件	B	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施にまで至らなかったが、ワーケーションをフックとした取り組みについては引き続き取り組みを進めており、令和3年度の目標値の達成を目指す。
			実績値		0件						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
地域資源活用プラットフォーム創出事業	総合政策課	令和2年度においては、ワーケーションをフックとしたプラットフォームの創出を目指し、県事業にてワーケーションに訪れていた企業への聞き取りや、ワーケーションプランを試験的に提供していた宿泊施設への視察を実施する等、地域での枠組みについて検討を行った。 2～3月にはプラットフォーム創出のための会議を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施には至らなかったものの、WEB会議等にて継続して協議は実施しており、令和3年度には具体的な事業の構築を目指す。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【基本目標評価シート】

■政策分野　4)しごとの強化

■基本目標 「地域の産業を守り、育て、強化する」

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】
A:進んだ(100%以上)　B:ある程度進んだ(80%以上100%未満)
C:あまり進まなかった(60%以上80%未満)　D:進まなかった(60%未満)

地域産業を維持・強化するための経営基盤づくりに取り組み、地域産業の競争力を高める。
また、自然、文化、食といった魅力ある地域資源の活用や、地域産業と結びつけた観光を展開するなど、観光地としての魅力を高める取り組みや情報発信のほか、観光客の受入環境整備などに積極的に取り組む。

■数値目標の進捗状況

指標(出典)	基準値	目標値
市内総生産額(三重県の市町民経済計算)	118,063百万円 H28(2016)	119,270百万円 R3(2021)

目標値(R2)	目標値(R3)	目標値(R5)	目標値(R4)	目標値(R6)
119,029百万円	119,270百万円	119,270百万	119,270百万円	119,270百万円
実績値(R2)	**実績値(R3)**	**実績値(R4)**	**実績値(R5)**	**実績値(R6)**
105,606百万円(H30)	－	－	－	－

評価と今後の方向性 (課題と改善案)	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光客入込客数等が大きく落ち込み、大きな打撃を受けているが、農業、水産業における新規就業者数や事業承継支援者数は目標値を達成した。 ただ、依然として新型コロナウイルス感染所の影響は大きく、今後は、新型コロナウイルス感染症の終息後に向けた観光施策や、新規就業者が事業を継続できるよう必要な施策、支援を実施していく。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値(H30)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4)-1	農林業の振興	新たに就農した人(団体)数の累計	目標値	0人(団体)	1人(団体)	3人(団体)	6人(団体)	9人(団体)	12人(団体)
			実績値		4人(団体)				
			達成度		A				
4)-1	農林業の振興	新たに農業経営基盤の強化に取り組んだ人(団体)数の累計	目標値	0人(団体)	4人(団体)	8人(団体)	12人(団体)	16人(団体)	20人(団体)
			実績値		12人(団体)				
			達成度		A				
4)-1	農林業の振興	獣害被害が減少したと実感する地区等の割合	目標値	3% R1(2019)	5.0%	7.0%	11.0%	17.0%	26.0%
			実績値		9.0%				
			達成度		A				
4)-2	水産業の振興	新たに就業した人(団体)数の累計	目標値	0人(団体)	5人(団体)	10人(団体)	20人(団体)	30人(団体)	40人(団体)
			実績値		6人				
			達成度		A				
4)-2	水産業の振興	漁業産出額	目標値	6,382百万円/年 R1(2019)	6,400百万円/年	6,400百万円/年	6,400百万円/年	6,400百万円/年	6,400百万円/年
			実績値		4387百万円/年				
			達成度		C				
4)-3	商工業の振興	経営向上計画を策定した事業者数(累計)	目標値	149者 R1(2019)	200者	250者	300者	350者	400者
			実績値		230者				
			達成度		A				

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4)-3	商工業の振興	事業承継支援者件数（累計）	目標値	0件 R1（2019）	0件	0件	1件	3件	5件
			実績値		1件				
			達成度		A				
4)-4	観光産業の振興	観光客入込客数（日帰り客数）	目標値	4,092,783人	4,138,000人	4,300,000人	4,400,000人	4,550,000人	4,650,000人
			実績値		2,686,050人				
			達成度		C				
4)-4	観光産業の振興	観光客入込客数（宿泊客数）	目標値	1,498,518人	1,515,000人	1,600,000人	1,700,000人	1,839,000人	1,900,000人
			実績値		949,799人				
			達成度		C				
4)-4	観光産業の振興	宿泊客数のうち外国人宿泊客数	目標値	55,010人	60,700人	66,200人	71,700人	77,200人	82,700人
			実績値		4,310人				
			達成度		D				

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域の産業を守り、育て、強化する」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

農林業の振興と農業経営の安定を図るため、担い手の育成や支援体制の充実を図るとともに農林生産基盤の整備を行う。また耕作放棄地の増加や狩猟者の減少による獣害被害の増加に対し、総合的に取り組む。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
4)-1	農林業の振興	新たに就農した人（団体）数の累計	目標値	0人（団体）	1人（団体）	3人（団体）	6人（団体）	9人（団体）	12人（団体）	A	農業塾なごみの卒業生3人と新規就農相談を行っている農業者1人が農業を始めている。今後も関係機関と連携のうえ、新規就農につながるよう取り組んでいく必要がある。
			実績値		4人（団体）						
			達成度		A						
4)-1	農林業の振興	新たに農業経営基盤の強化に取り組んだ人（団体）数の累計	目標値	0人（団体）	4人（団体）	8人（団体）	12人（団体）	16人（団体）	20人（団体）	A	認定農業者等営農継続支援対策事業5人、農業生産者育成事業（ビニールハウス補助）5人、耕作放棄地再生支援対策事業2人に支援を行った。 引き続き、営農継続のために各種支援事業が活用されるよう関係機関と連携し取り組む。
			実績値		12人（団体）						
			達成度		A						
4)-1	農林業の振興	獣害被害が減少したと実感する地区等の割合	目標値	3% R1（2019）	5.0%	7.0%	11.0%	17.0%	26.0%	A	野生鳥獣被害による被害は、年々減少しているものの、イノシシによる掘り起こしや土木被害、交通事故などの生活被害も多発しておりより効果的に被害防除や有害捕獲を行うことが必要である。
			実績値		9.0%						
			達成度		A						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
農業生産者育成事業	農林課	認定農業者等営農継続支援対策事業5人、農業生産者育成事業（ビニールハウス補助）5人、耕作放棄地再生支援対策事業2人に支援を行った。	農業生産者育成事業に農機具の購入補助メニューを追加した。引き続き、営農継続のために各種支援事業が活用されるよう関係機関と連携し取り組む。
農業の担い手受け入れ推進事業	農林課	いちごの栽培研修を受けている隊員1人と、隼人芋栽培・きんこ加工に取り組んでいる隊員1人の計2人が活動に取り組んだ。南張地区の水稲栽培後継者は募集を行ったが隊員の確保までは至らなかった。	いちご栽培及び隼人芋栽培・きんこ加工の隊員はそれぞれ3年目になるため、就農に向けての準備に関する具体的な相談に対応していくことが必要となる。南張地区の水稲栽培後継者は引き続き応募を行っていくこととする。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
獣害対策事業	農林課	農作物や生活被害があり被害証明書及び有害鳥獣捕獲依頼書が提出された場合、志摩市猟友会に有害鳥獣の捕獲依頼を行い、有害鳥獣の捕獲に取り組んだ。 有害鳥獣の捕獲者の確保のため、新規に狩猟免許を取得される方に助成を行った。 農家が鳥獣被害から農作物を守るために設置する防護柵等の購入費に助成を行った。 サルの追い払い等地域で獣害に取り組む団体が購入する資材に対し助成を行った。	侵入防止柵の設置の推進、獣害対策講習会の開催などの農家に向けた対策と、猟友会による捕獲強化への対策を進めていく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域の産業を守り、育て、強化する」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

水産業の振興と漁業経営の安定を図るため、漁業環境の整備・改善を図りながら資源管理型漁業を推進するとともに、担い手育成に取り組み、経営基盤の強化に努める。また、地域ブランドでもある水産物のPRや、未活用となっている資源の利用促進など、漁業者の所得向上につながる取組みも行う。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
4)-2	水産業の振興	新たに就業した人（団体）数の累計	目標値	0人（団体）	5人（団体）	10人（団体）	20人（団体）	30人（団体）	40人（団体）	A	令和2年度については、6名の新規就業者があったが、志摩市の水産業については、真珠稚貝の大量へい死、カキのへい死、磯焼けによる磯根資源の減少と課題もたくさん抱えており、就業した人が生活できず、すぐにやめてしまうという事も考えられるので、海峡環境の改善に取り組んで行く事が必要である。
			実績値		6人						
			達成度		A						
4)-2	水産業の振興	漁業産出額	目標値	6,382百万円/年 R1（2019）	6,400百万円/年	6,400百万円/年	6,400百万円/年	6,400百万円/年	6,400百万円/年	C	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で真珠養殖の入札会が延期になり、3月の1ヵ月分しか反映されていない。 魚類についても、新型コロナウイルス感染症の影響により漁価安が度々取り上げられような状況であった。さらに、太平洋沿岸では磯焼けが拡大してきており磯根資源の減少も叫ばれており、新たな流通の拡大、海峡環境の改善などに取り組んでいく行く事が必要である。
			実績値		4387百万円/年						
			達成度		C						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
志摩の魚介類付加価値向上事業	水産課	サザエがアワビとならんで海女漁業の代表的な漁獲物であることを皆様にお伝えし、ご賞味いただくためにサザエPRポスターを作成し、市内飲食店及び観光施設への配布を行った。また、サザエ料理を食べてインスタグラムに投稿していただくサザエキャンペーンを実施し、サザエの付加価値向上に繋がるイベントを実施した。	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、販売価格が下落したアオサのPRポスター及びキャンペーンを実施予定。 また、すでに作成済みのイセエビ、アノリフグ、カキ、サザエ等のポスターを使い志摩の魚介類のPRを行って行く予定。
水産業の担い手受入推進事業	水産課	カキ養殖の担い手として受け入れを行ってきた地域おこし協力隊員2名が3年間の任期を迎えたため退任式を実施した。 地域おこし協力隊員2名は、引き続き地元に残り新たなカキ養殖業者として就業している。	令和3年度については、独立した地域おこし協力隊員の起業等への支援を実施していく。 新たな担い手の受け入れとして、地域おこし協力隊制度だけではなく、地元出身の新たな担い手の発掘も含め、地域の要望に答えて行く必要がある。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域の産業を守り、育て、強化する」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

志摩市商工会等と連携し、中小企業・小規模事業者の経営安定化・経営改善・経営基盤強化を目的とし、市内事業者の経営状況の分析や経営課題解決に向けての支援、新たな需要の開拓に関する支援を行うとともに、地域経済の持続的発展を図るため、中小企業・小規模事業者の事業承継に関する支援を行う。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
4)-3	商工業の振興	経営向上計画を策定した事業者数（累計）	目標値	149者 R1（2019）	200者	250者	300者	350者	400者	A	引続き商工会と連携し、市内事業者の支援を行っていく。
			実績値		230者						
			達成度		A						
4)-3	商工業の振興	事業承継支援者件数（累計）	目標値	0件 R1（2019）	0件	0件	1件	3件	5件	A	引続き商工会と連携し、市内事業者の支援を行っていく。
			実績値		1件						
			達成度		A						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
中小企業支援事業（三重県版経営向上計画実施支援事業）	商工課	補助交付件数：19件（飲食店、食品卸売小売店、美容院など） 補助総額：5,191,000円	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりあらゆる業種の売上高が落ち込む中、事業継続をしていくために、施設への投資、PR活動など積極的な姿勢が見られる事業者が増えた。今後はアウターコロナに備えた新商品の開発や需要拡大を狙うマーケティング調査などにも支援できるよう商工会と連携しながら対象事業者を増やしていく。
中小企業支援事業（小規模事業者経営改善資金等利子補給事業）	商工課	補助交付件数：44件 補助総額：1,470,000円	より効果的な事業者支援のため、本融資以外の利子補給についても検討する必要がある。
中小企業支援事業（賑わいマルシェ創出事業）	商工課	新型コロナウイルス感染症の影響により、実績なし	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に市内でイベント等を実施できる状況ではなかったため、今後は商工振興イベント感染症対策支援補助金の活用を周知しながら、市内でイベント等をしやすい環境作り、イベント等の経費について支援を実施していく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域の産業を守り、育て、強化する」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

地域や年代など明確なターゲットを定め、自然、文化、食等の高いポテンシャルを活かした誘客を図るとともに、障がい者や外国人などのすべての方を受け入れるため、施設のバリアフリー化や案内ツールの多言語化を推進する。また、関係機関と連携しながら広域での取り組みを強化し、ナショナルパークとしての地域ブランド力の向上を図り、観光消費額の拡大を目指す。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
4)-4	観光業の振興	観光客入込客数（日帰り客数）	目標値	4,092,783人	4,138,000人	4,300,000人	4,400,000人	4,550,000人	4,650,000人	C	全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大およびそれに伴う緊急事態宣言の発出により、令和2年3月～5月については、日帰り客数、宿泊客数ともに、大幅に落ち込んだ。9月～11月にかけてはGoToトラベルキャンペーンや三重県の実施する観光促進事業等の効果もあり、入込客数は大きく回復したが、12月に入り一部都道府県に再度緊急事態宣言が発出され、GoToトラベル事業が一時中断したことにより再度大きく減少に転じた。 新型コロナウイルス感染症により、旅行スタイルやニーズも変化しており、、ワーケーションなど、新たな観光ニーズに対応したプログラムの企画など、新たな時代に対応した施策を展開していく。
			実績値		2,686,050人						
			達成度		C						
4)-4	観光業の振興	観光客入込客数（宿泊客数）	目標値	1,498,518人	1,515,000人	1,600,000人	1,700,000人	1,839,000人	1,900,000人	C	
			実績値		949,799人						
			達成度		C						
4)-4	観光業の振興	宿泊客数のうち外国人宿泊客数	目標値	55,010人	60,700人	66,200人	71,700人	77,200人	82,700人	D	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、年初より本市を訪れる外国人観光客数は大幅減少し、3月以降はほぼ入込がない状況となり、年間で約9割減少した。 近年、観光客の個人旅行化が年々進んでいる状況となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後さらにその動きは加速するものと思われるため、受け入れ環境の整備など、個人客の取り込みを図っていく。
			実績値		4,310人						
			達成度		D						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
外国人観光客誘致推進事業	観光課	外国人観光客の誘致を強化・推進するため、インバウンド専門員を(一社)志摩市観光協会に配置し、海外旅行会社や国内ランドオペレーターへのセールスや旅行会社・メディアのファムトリップ受入れ、市内施設の受入れ体制整備などを行った。 また、東海地区外国人観光客誘致促進協議会として、東海地区広域でのインバウンド事業と同協議会三重県部会による誘致事業を展開した。	新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、外国人宿泊客は対前年比約9割減となった。近年、外国人観光客の個人旅行化が年々進んでいる状況となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後さらにその動きは加速するものと思われ、個人客の取り込みがより一層重要な課題となる。
外国人観光客おもてなし推進事業	観光課	外国人旅行者へのおもてなし力向上のため、民間事業者が実施するwi-fi環境整備やメニュー等の多言語化整備、決裁のキャッシュレス化などの事業に対し20万円又は費用の1/2を上限に補助を行った。令和元年度は1事業所(2件)に対し補助を行った。 〇多言語化：1件 〇キャッシュレス化：1件	申請件数については年々減少していることから、令和2年度をもって事業を終了する。今後の市内施設の受入環境整備に向けた取組に関しては、事業者からのニーズの聞き取りなどを通じ、事業展開を検討していく。
バリアフリー観光推進事業	観光課	・市内宿泊施設のバリアフリー改修工事に係る事業に対し、100万円又は費用の1/2を上限に補助を行い、令和2年度は1事業所に対し補助金を交付。（1件　921千円） ・タンデム自転車ツアー造成に向けた環境整備及びバリアフリー観光パンフレットの作成を実施	・宿泊施設バリアフリー改修事業補助金については、令和2年度をもって事業を終了 ・バリアフリー観光情報の継続的な発信や、おもてなし力の向上に向けた講座の開催については、令和3年度以降も継続実施
クアオルト推進事業	観光課	・特設ホームページにおける情報発信、健康経営に取り組む企業等へのPR等の実施 ・クアオルト健康ウオーキングイベントの開催（実施回数16回、参加者96人） ・ワーケーションの推進を図るため、ニーズ調査の実施、クアオルト健康ウオーキングを組み込んだワーケーションプランの造成、モニターツアーの開催、大都市圏の企業等に対する情報発信等を実施	コロナ禍における世の中の健康意識へのさらなる高まりも踏まえ、市民向けや企業向けに引き続き情報発信を実施する。また、ワーケーションをはじめ新たな観光ニーズに対応したプログラムのを企画を継続する。
スポーツ観光推進事業	観光課	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた全事業が中止となった。しかし、一部事業では、中止となったが、開催に向けて準備を進めてきたことにより、事務局費等、必要な経費が生じていたため、予算の範囲内で対象経費を補助した。	各事業を実施する実行委員会等の団体が、将来的な自立に向かって運営を行うよう指導・助言を継続し実施する。
ガストロノミーツーリズム推進事業	観光課	「ガストロノミーツーリズム」の推進を図るため、ONSEN・ガストロノミーウォーキングのイベント開催等を予定したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を中止となった。	地域への経済効果の高いイベントであることから、新型コロナウイルス感染症の状況も見据え、令和3年度についても開催を目指す
灯台活用推進事業	観光課	・志摩市灯台活用推進協議会を設立し、安乗埼・大王埼両灯台周辺地域の関係者の連携及び灯台を活用した周辺地域の活性化に係る体制づくりを図った。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、灯台ワールドサミットin御前崎のほか市内で予定していたイベント等も軒並み中止となったものの、委員による灯台周辺のまち歩きの実施や鵜方地内にある灯台型のモニュメントのリニューアルを実施した。	灯台を活用した周辺地域の活性化と歴史的価値のある灯台を後世に引き継ぐこと目的と市、志摩市灯台活用推進協議会を中心に、安乗埼・大王埼両灯台周辺地域の関係者の連携強化を図りつつ、周辺地域の活性化に向けた取組を継続的に実施する
サーフィン活用推進事業	観光課	志摩市サーフィン活用推進協議会への支援を実施し、サーフィンを活用した地域活性とまちづくりを実施した	志摩市サーフィン活用推進協議会の取組に関しては、観光誘客をはじめ市の各種施策との効果的な事業連携が可能であることから、次年度以降についても同協議会に対する継続的な支援を実施していく

令和2年度志摩市創生総合戦略 【基本目標評価シート】

■政策分野　5)しごとの創出

■基本目標 「地域の中で働く場所を創る」

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】
A:進んだ(100%以上)　B:ある程度進んだ(80%以上100%未満)
C:あまり進まなかった(60%以上80%未満)　D:進まなかった(60%未満)

地域内での就職を希望する人が、地域で安心して働ける場所を見つけられるよう、市内企業等と連携して、魅力ある良質な雇用機会へのマッチングに取り組む。
また、創業の支援や市外からの企業等誘致、6次産業化等を通じ、地域内での新たな仕事を増やし、雇用数の増加につなげる。

■数値目標の進捗状況

指標(出典)	基準値	目標値
志摩ふるさとハローワークを通じて就職した件数(実績に基づく集計)	473件 H29(2017)	500件 R5(2023)

目標値(R2)	目標値(R3)	目標値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)
485件	490件	495件	500件	500件
実績値(R2)	**実績値(R3)**	**実績値(R4)**	**実績値(R5)**	**実績値(R6)**
325件	－	－	－	－

評価と今後の方向性 (課題と改善案)	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の就職状況は、目標値を下回る結果ととなったものの、「三重県内経済情勢及び三重県景気動向指数」によると、「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、持ち直しの動きがみられる」とのことから、関係機関と連携し、創業希望者や事業者へ必要な支援を実施していく。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地方への移住に関する関心の高まりとともにテレワークを機に人の流れに変化の兆しがみられることから、テレワークやサテライトオフィスを推進し、企業誘致へとつなげていく。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値(H30)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5)-1	就労支援の促進	地元企業との交流会等の協力企業数	目標値	23社	25社	32社	35社	38社	40社
			実績値		20社				
			達成度		B				
5)-2	創業の支援	制度を利用して創業・第二創業を実現した件数の累計	目標値	1件	15件	20件	25件	30件	35件
			実績値		12件				
			達成度		B				
5)-3	企業等誘致の推進	誘致または立地した企業数の累計	目標値	0件 R1(2019)	0件	0件	1件	1件	1件
			実績値		0件				
			達成度		C				
5)-3	企業等誘致の推進	半島振興法に基づく新規設備投資事業者数の累計	目標値	0件	0件	1件	1件	2件	2件
			実績値		0件				
			達成度		D				
5)-4	産業連携の推進	6次産業化の事例数の累計	目標値	1件	3件	4件	5件	6件	7件
			実績値		3件				
			達成度		A				

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域の中で働く場所を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

誰もが地域の中で生き生きと働ける環境づくりを目指し、ハローワークと連携して、市内企業等の求人情報の周知や就職するために必要な技能や資格の習得の支援を行うとともに、市内小・中学校や高校と連携して、職場見学・体験等を通じて市内企業等を知ってもらう機会を創出し、地元就職の推進を図る。また、商工会と連携し、大学生や高校生を対象に市内企業等との交流会や企業見学バスツアー等を実施し、市内企業等の雇用促進を図る。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
5)-1	就労支援の促進	地元企業との交流会等の協力企業数	目標値	23社	25社	32社	35社	38社	40社	B	目標値を下回ったものの、令和3年度には企業見学バスツアーや交流会を実施する予定となっている。 また、市広報で、協力企業で働く若い人を紹介するコーナーをスタートしており、人の紹介だけでなく、企業のPRする場を創出することにより、協力企業数を増やしていく。
			実績値		20社						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
がんばる市民を応援する事業（資格取得奨励事業）	商工課	指定の資格を取得した5名に対して奨励金を交付した。 保育士：2名、カヌー指導員：2名、野菜ソムリエ：1名	市民が意欲的に技術や能力を高め、市役所の事業及び市内で活躍する場を増やせるよう、資格取得のため支援する。
若手就業マッチング支援事業	商工課	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止	県内大学生を対象とした市内企業見学バスツアーを実施し、市内企業への就業機会を創出する。
新卒者雇用推進事業	商工課	実績なし	市内企業が市内に住む新卒者の雇用を促進するため、周知する。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域の中で働く場所を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

誰もが地域の中で生き生きと働ける環境づくりを目指し、ハローワークと連携して、市内企業等の求人情報の周知や就職するために必要な技能や資格の習得の支援を行うとともに、市内小・中学校や高校と連携して、職場見学・体験等を通じて市内企業等を知ってもらう機会を創出し、地元就職の推進を図る。また、商工会と連携し、大学生や高校生を対象に市内企業等との交流会や企業見学バスツアー等を実施し、市内企業等の雇用促進を図る。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
5)-2	創業の支援	制度を利用して創業・第二創業を実現した件数の累計	目標値	1件	15件	20件	25件	30件	35件	B	目標値を達成しなかったものの、創業スクールへの参加者は大幅に増加し、創業へとつながった。今後も、引続き、商工会と連携し、創業者や事業者への支援を行っていく。
			実績値		12件						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
志摩市を元気にする創業支援事業	商工課	2件 飲食店（テイクアウト専門店）、食品小売店（パン屋）	中心市街地などに空き店舗等が目立つことから、令和3年度から空き店舗等を活用し、新たに創業をする者に対し、店舗改修費の2/3、上限50万円を補助する制度を創設した。この制度を活用することで、新規創業者の創出と共に、中心市街地の活性化を図っていく。
商工会事業補助金（創業スクール事業）	商工課	参加者数：12名 カリキュラム ① 1/24　オリエンテーション、ビジネスのアイデア創出、② 1/30　ビジネスモデルの作成（経営戦略・販路開拓）、③ 2/6　マーケティング戦略、④ 2/14　資金計画作成（経営・財務会計）、⑤ 2/20　ビジネスプランの作成	近年受講者数が低迷していたが、今回の参加者は12名と大幅に増加し、うち2名が新規に創業され、地域産業の活性化に寄与している。一方で、例年冬季の開催であり、この時期に受講しにくいという声もあるため、夏季と冬季の2回実施する等、更なる参加者増加に向けて改善していく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■具体的取り組み　「地域の中で働く場所を創る」

■施策内容

市内全域が国立公園に指定される自然環境は、志摩市の大きな魅力となることから、空き公共施設等を活用した企業等誘致も含め、立地場所や交通状況も勘案したうえで、より志摩市にふさわしい企業等誘致を展開する。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
5)-3	企業等誘致の推進	誘致または立地した企業数の累計	目標値	0件 R1（2019）	0件	0件	1件	1件	1件	C	企業誘致の推進に向けて、令和3年度において、企業等が取り組むワークライフバランスの充実及び多様な働き方の促進並びに地域経済の発展と地域産業の振興を図るため、市内に新たにサテライトオフィス等を開設する者に対し、その費用の一部を補助する制度を開始し、企業誘致へ向けた取り組みを行っている。 また、財源には、地方創生テレワーク推進交付金の活用を予定しており、現在、申請を行っている。
			実績値		0件						
			達成度		C						
5)-3	企業等誘致の推進	半島振興法に基づく新規設備投資事業者数の累計	目標値	0件	0件	1件	1件	2件	2件	D	
			実績値		0件						
			達成度		D						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
企業誘致推進事業（令和3年度事業）	商工課	令和3年度の事業実施に向けて、志摩市サテライトオフィス等開設経費補助金交付要綱を制定した。	令和2年度においては、成果となる実績はなかったが、令和3年度に、新規事業として企業誘致推進事業を立ち上げ、サテライトオフィスを開設企業への支援を実施し、企業誘致へつなげる。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「地域の中で働く場所を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

農林水産業、商工業、観光産業、福祉分野などが連携して、優れた地域資源を活用した地域の経済循環を構築するとともに、ブランド化して付加価値を付けるなど、事業者の収益向上を図り、事業拡大につなげることで、雇用の創出を目指す。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
5)-4	産業連携の振興	6次産業化の事例数の累計	目標値	1件	3件	4件	5件	6件	7件	A	さとうきび栽培農業者、隼人芋栽培・きんこ加工農業者及びたで藍栽培農業者の3者に支援を行っている。 引き続き、6次産業化に取り組みたい農業者の発掘及び支援に取り組んでいく。
			実績値		3件						
			達成度		A						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
6次産業化推進事業	農林課	たで藍栽培農業者に対し、体験工房の建築費用の一部を支援した。 隼人芋栽培・きんこ加工農業者に対し、隼人芋の育苗ハウスの設置にかかる支援を行った。	6次産業化の事業化に向けては、十分な計画、準備が必要になることから、関係機関等と連携し、実現可能な取り組みとして組み立てていく必要がある。
森林資源地域循環活用事業	農林課	森林所有者に対し森林状況、今後の森林の管理について、意向調査を実施し、森林所有者の意向を確認することができ、次年度の事業実施につながった 森林の現況調査実施面積（48ha）、境界の明確化（77.85ha）	今後においても森林資源の循環活用を図り森林整備を促進するため、森林情報を森林所有者の同意を得て公表し林業業者と森林所有者とをつなぐ森林バンク制度の継続実施に向け、森林所有者の意向の確認と境界の確認を実施していく。
地域ブランド認定事業	商工課	新規認定品：1品（情熱のさとうきびシロップ） 更新認定品：3品（兵九郎粕漬け、あかもく細うどん、志摩のきんこ）	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により商談会等の認定品をPRできる場が皆無となっている。R3年度から、市内の道の駅などで認定品を販売する際の手数料や販促物の作成に係る経費の一部を補助する制度を創設し、認定事業者支援を図る。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【基本目標評価シート】

■政策分野　6）まちの形成

■基本目標 「豊かで暮らしやすい地域を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

人口減少や少子高齢化による地域を取り巻く環境の変化や大規模化する自然災害のリスクなどの不安の解消に向け、多様な主体が連携し、地域に暮らし続けられるまちづくりを進める。
また、SDGsの達成に向けた持続可能なまちづくりを進める中で、経済発展と社会的課題の解決を両立する「Society 5.0（ソサエティ5.0）」時代への流れを踏まえ、まちづくりに新たな技術などを積極的に取り入れ、暮らしやすさの向上を図る。

■数値目標の進捗状況

指標（出典）	基準値	目標値
現在の志摩市が暮らしやすいと思う市民の割合（市民アンケート）	53.2% H30（2018）	65.0% R6（2024）

目標値（R2）	目標値（R3）	目標値（R4）	目標値（R5）	目標値（R6）
57.1%	59.1%	61.1%	63.1%	65.0%
実績値（R2）	**実績値（R3）**	**実績値（R4）**	**実績値（R5）**	**実績値（R6）**
54.4%	－	－	－	－

評価と今後の方向性（課題と改善案）		
	B	令和3年2月に実施した「志摩市まちづくりアンケート調査」によると、、「志摩市が暮らしやすいと思う市民の割合」は54.4%と、基準値よりは上昇したものの、目標値を達成する数値とはならなかった。 空き家対策や道路整備等の生活環境の整備や、SDGsの内容の理解については一定の成果があり、交通空白地の比率も改善したものの、市民アンケートでも公共交通に対して「不満」「どちらかといえば不満」と感じる割合が4割を超えており、移動手段の確保が課題となっている。 公共交通の維持については、観光施策と連携することにより、観光客の利用者を増やし、改善を図り、利用しやすく持続可能な公共交通となるよう、利用者や運行事業者等と協力し路線の再編を検討していく。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
6）-1	地域生活支援体制の整備	拠点づくり事業により地域課題の解決に取り組む地区の数	目標値	3地区	5地区	6地区	7地区	8地区	10地区
			実績値		4地区				
			達成度		B				
6）-2	防災対策の推進	防災技術指導員による市民等への防災講話及び市防災訓練の参加人数（実績に基づく集計）	目標値	6,963人	7,200人	7,400人	7,600人	7,800人	8,000人
			実績値		1101人				
			達成度		D				
6）-3	空き家等対策の推進	適切に管理が行われていない空き家等への対策（除去等）の件数	目標値	5件 R1（2019）	13件	26件	39件	52件	65件
			実績値		11件				
			達成度		B				
6）-4	交通基盤の整備・確保	生活道路の交通安全対策の箇所数の累計（実績に基づく集計）	目標値	12箇所 （R1）	－	13箇所	14箇所	15箇所	16箇所
			実績値		－				
			達成度		－				
6）-4	交通基盤の整備・確保	橋梁長寿命化修繕済箇所数	目標値	21箇所 （R1）	23箇所	25箇所	27箇所	29箇所	31箇所
			実績値		24箇所				
			達成度		A				

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
6)-4	交通基盤の整備・確保	公共交通空白地域の比率	目標値	29.60%	25.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
			実績値		22.5%				
			達成度		B				
6)-5	SDGs未来都市の推進	SDGsの内容を理解している市民の割合	目標値	7.5%（R1）	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%
			実績値		20.8%				
			達成度		A				
6)-5	SDGs未来都市の推進	御食国食文化の展開に係るプロジェクトの実施件数の累計	目標値	－	－	1件	3件	5件	7件
			実績値		－				
			達成度		－				

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「豊かで暮らしやすい地域を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

少子化と高齢化が進行する市内各地域において、地域の調整を行い、地域の人が集える場所または機会をつくることを支援するとともに、住民とともに地域の現状やニーズを把握し、地域の課題を住民が主体となって解決できる仕組みを検討し、その実施の具体化を支援し協働する。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
6)-1	地域生活支援体制の整備	拠点づくり事業により地域課題の解決に取り組む地区の数	目標値	3地区	5地区	6地区	7地区	8地区	10地区	B	間崎地区の拠点は5年かけて地域住民が主体の地域になくてはならない集いの場に成長した。しかし、離島のハンディと超高齢化している地域であるため、継続的な公的支援が必要である。
			実績値		4地区						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
地域生活支援拠点づくり事業	地域福祉課	間崎地区：地域拠点「もやい」の運営 ショップ144日　利用者2,023人　売上金4,065,519円 買物ツアー10回 サロン7回（6回中止） 南張地区：生活課題の調査と地域座談会の実施（初年度） 地域調査（個別訪問調査）　56世帯79人（65歳以上のみ世帯対象） 地域座談会　2回実施	間崎地区は地域拠点づくり事業により社会資源（イオンリテール株式会社）とのマッチングによる効果的な買い物支援モデルとしてノウハウが蓄積できたが、超高齢化と人口減少が著しい離島において、島民の生活を支える地域拠点を維持するため公的支援が必要である。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「豊かで暮らしやすい地域を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

南海トラフ地震や大型台風などの大災害等、市民の生命・身体及び財産をさまざまな災害から守るため、地震・津波や風水害などの自然災害に対するソフト・ハード両面からの防災・減災の強化を行うとともに、市民への防災意識啓発を行い、地域の自主防災組織の防災対応力の向上を図る。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
6)-2	防災対策の推進	防災技術指導員による市民等への防災講話及び市防災訓練の参加人数（実績に基づく集計）	目標値	6,963人	7,200人	7,400人	7,600人	7,800人	8,000人	D	毎年、市民の防災意識の高揚、防災力の向上及び市職員や救助機関等防災関係機関の連携強化を図るため、市防災訓練を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく実施体制の変更（市職員対象災害対策本部運営訓練（図上訓練）、職員安否確認訓練（参集メール確認））を行い実施した。今後は参加人数の増加に努め、地域の自主防災組織の防災対応力の向上を図る。
			実績値		1,101人						
			達成度		D						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
防災技術指導員配置事業	地域防災室	市防災訓練や各種訓練への技術指導、職員への防災研修、市民対象の防災講話、広報紙の原稿作成等防災に関する普及啓発業務を実施した。 【令和2年度実績】 職員防災研修・訓練実施回数7回 市民等を対象とした防災講話24回　新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部講話を見合わせた。	今後も、自主防災組織の強化を支援するため、各種研修会への参加の呼びかけや防災技術指導員による訓練・技術指導（出前型）を行うほか、市民の防災意識の普及・啓発を図るため、防災講話（出前型）の実施や広報紙への定期掲載、ハザードマップなどをはじめとする防災情報の発信・周知を図っていくことに努める。さらには、教育部局と連携し、防災教育研修会などの機会を通じて、子どもたちの防災意識の向上にも取り組む。
津波避難施設整備事業	地域防災室	志摩市津波避難計画に基づいて、各地区において施設整備事業を行った。 【令和2年度実績】 津波避難対策施設整備（畔名・国府地区）地質調査・境界立会・用地買収他 橋梁耐震補強（国府・片田地区）設計業務	志摩市総合計画で定める目標値を達成できるよう、更なる事業進捗に努める。
未来といのちの特別授業事業（学校防災学習）	学校教育課	3校でタウンウォッチングや避難所運営活動など体験的な防災学習を実施し、児童生徒の防災意識向上につなげた。また教職員がこれらの授業参観や防災教育研修会により防災教育の手法も周知された。	各小中学校での避難訓練に際して防災講話をおこなうこと、防災意識の向上につなげるため防災袋をつくる授業を令和3年度より3年間で全小中学校でおこなうこと、県教委などの支援を得て体験的な防災学習をおこなっていく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「豊かで暮らしやすい地域を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれのある適切に管理が行われていない空き家等の管理、活用、除却等の促進を図ることにより、良好な生活環境を維持する。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
6)-3	空き家対策の推進	適切に管理が行われていない空き家等への対策（除去等）の件数	目標値	5件 R1（2019）	13件	26件	39件	52件	65件	B	事業を通じ、特定空家等管理不全の空き家に対する除却等管理促進を一定数図ることができたが、目標値には至らなかった。今後は、目標値を達成するため、さらに所有者への啓発や相談、行政指導に努めていく。
			実績値		11件						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
木造住宅空き家除却工事費補助事業、特定空家等除却工事費補助事業、移住促進空き家改修支援事業	都市計画課（現：営繕室）	補助金を交付し、空き家の除却及び活用を促進した。 【令和2年度交付実績】 木造住宅空き家除却補助金　26件(内管理不全の空き家除却件数5件) 移住促進空き家改修支援事業 2件	目標値を達成するため、さらに所有者への啓発や相談、行政指導に努めていく。3年度からは特定空家等を対象とした「特定空家等除却工事費補助金」を創設し、管理不全の空き家の除却促進をより図る。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「豊かで暮らしやすい地域を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

日常生活における利便性と安心・安全性を高め地域経済を支えるため、国道167号（磯部バイパス）や主要地方道浜島阿児線（塩屋バイパス）等については、県などの関係機関への働きかけを強化するとともに、市道の道路環境づくりに努める。
また、生活交通の利便性を高めるため、バス路線や定期航路等の維持・確保に努めながら公共交通網の整備を行うとともに、観光客の二次交通網整備も含め、MaaS（Mobility as a Service）などの新たな流れを踏まえ、地域の実情にあった公共交通体系の見直しを進める。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
6)-4	交通基盤の整備・確保	生活道路の交通安全対策の箇所数の累計	目標値	12箇所（R1）	－	13箇所	14箇所	15箇所	16箇所	－	生活道路の交通安全対策として、交通弱者などが安全に通行できるようグリーンベルトを設置し、道路環境づくりを推進する。具体的には、自治会や教育委員会からの要望を反映して優先的にグリーンベルトを設置する。
			実績値		－						
			達成度		－						
6)-4	交通基盤の整備・確保	橋梁長寿命化修繕済箇所数	目標値	21箇所（R1）	23箇所	25箇所	27箇所	29箇所	31箇所	A	達成度については、目標値を上回っているが、整備計画の基準となる数値の検討ができていない。 今後厳しくなる財政状況のなかでも限られた財源を有効に活用するために、整備計画を元にした基準を作成して事業を進める検討が必要である。
			実績値		24箇所						
			達成度		A						
6)-4	交通基盤の整備・確保	公共交通空白地域の比率	目標値	29.6%	25.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	B	公共交通空白地の比率は、浜島地区で電気自動車の運用が始まったことなどにより、7.3%解消した。令和5年度の0%の目標達成に向けて、利用しやすく持続可能な公共交通となるよう、利用者や運行事業者等と協力し路線の再編を検討する必要がある。
			実績値		22.5%						
			達成度		B						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
道路整備事業	建設整備課	令和2年度においては、各地区自治会の道路整備に伴う要望に対して、29箇所の市道の整備を行った。	現在、各町別に事業費を割り振り、各地区への事業費を配分し、調整して事業を進めているが、今後、厳しくなる財政状況のなかで、予算の範囲内で実施できる事業箇所が少なくなることが予測されるため、整備計画を元にした基準を作成して事業を進める検討が必要である。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
橋梁長寿命化事業	建設整備課	平成28年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、令和2年度においては、3橋の修繕工事を行った。	毎年度、国費率の変動により補助金が異なってくるため、予算の範囲内で橋梁の耐震・修繕工事を計画して実施する必要がある。
地域公共交通事業	総合政策課	地域公共交通の活性や再生に向け、公共交通空白地対策（浜島電気自動車・ハッスル号）や路線バス・航路の運行や助成（志島循環線・安乗線・英虞湾定期船）に取り組んだ。	地域公共交通網形成計画に基づき、利用しやすく持続可能な公共交通となるよう、利用者や運行事業者等と協力し路線の再編を検討する必要がある。 利用者の減少に伴った運航事業者の収支悪化を改善するため、観光施策と連携することにより、観光客の利用者を増やし、改善を図っていく。

令和2年度志摩市創生総合戦略 【具体的取り組み効果検証シート】

■具体的取り組み　「豊かで暮らしやすい地域を創る」

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：進んだ（100%以上）　B：ある程度進んだ（80%以上100%未満）
C：あまり進まなかった（60%以上80%未満）　D：進まなかった（60%未満）

■施策内容

2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を創出するための17の目標で構成されている。市では、この17の目標を志摩市が目指す目標と関連付け、市内外のさまざまな関係者の皆さんとのパートナーシップで目標を達成することにより、『持続可能な志摩市のまちづくり』を進める。

■具体的な取り組みの進捗状況

施策No.	施策名称	KPI	項目	基準値（H30）	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	評価と今後の方向性（課題・改善案等）	
6)-5	SDGs未来都市の推進	SDGsの内容を理解している市民の割合	目標値	7.5%（R1）	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	A	メディアでもSDGsが取り上げられることが増えてきたことや、志摩市での啓発活動も一定の認知効果が見られ、数値が大きく上昇した。 しかし、「言葉も内容もわからない」といった層が全体の半数いることから、全体への浸透まで至っていない。きっかけづくりから自走への橋渡しができるよう、更なる啓発活動を行う。
			実績値		20.8%						
			達成度		A						
6)-5	SDGs未来都市の推進	御食国食文化の展開に係るプロジェクトの実施件数の累計	目標値	－	－	1件	3件	5件	7件	－	継続しているコロナ禍においても、今後も様々な手段で御食国の食文化を伝える方法を試みる必要がある。地元からの発信は志摩市の魅力発信にもつながるため、持続可能な「食」にまつわる取組をしている市民・団体からの情報発信を協働して進めていく。
			実績値		－						
			達成度		－						

■主な成果

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
御食国食文化展開事業	SDGs未来都市推進室	・豊かな食の郷土づくり研究会への参加 【令和2年度実績】幹事団体会議への参加（オンライン、神戸市） ・オンライン講演会開催 【令和2年度実績】YouTube限定ライブ配信にて1回開催	継続しているコロナ禍においても、今後も様々な手段で御食国の食文化を伝える方法を試みる必要がある。地元からの発信は志摩市の魅力発信にもつながるため、持続可能な「食」にまつわる取組をしている市民・団体からの情報発信を協働して進めていく。
SDGs啓発・情報発信事業	SDGs未来都市推進室	・SDGsに関する講義・研修の実施【令和2年度実績】中学校、高校、大学、他自治体　4回実施 ・SDGs動画制作、図書館展示、児童書配布、パネル展示 ・小学生向けチラシ（プリント）作成・配布【令和2年度実績】3回 ・アコヤガイ理科授業【令和2年度実績】2回	メディアでもSDGsが取り上げられることが増えてきた昨今、志摩市での啓発活動も一定の認知効果はあると言えるが、全体への浸透まで至っていない。きっかけづくりから自走への橋渡しができるよう、更なる啓発活動を行う。

事業名	担当課	実績（令和2年度）	今後の方向性（課題・改善案等）（令和3年度以降）
小学校課外活動支援事業（環境体験学習）	学校教育課	大王小学校・・シェルクラフト体験　磯部浄水場見学 志摩小学校・・磯部浄水場見学　やまだエコセンター見学 鵜方小学校・・シェルクラフト体験 神明小学校・・磯部浄水場見学 東海小学校・・シーカヤック体験　やまだエコセンター見学　磯部浄水場見学 磯部小学校・・シーカヤック体験　シェルクラフト体験	豊かな志摩の自然を肌で感じ、日常とは異なる活動を体験することで、自然を身近なものとして見つめる機会となった。また、施設見学や体験活動をとおして、自然との共存・保全や環境問題について、自分自身ができることを多方面から考えることができた。 事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の収束が必要である。 体験活動、施設訪問等のための交通費の確保が必要である。
未来といのちの特別授業事業（SDGs推進学習）	学校教育課	関係機関による出前授業 浜島中学校・・・市SDGs未来都市推進室による環境教育 ※SDGsとは・食品ロス問題・ 私たちにできることなどをテーマに授業を実施 東海中学校・・・三重県環境生活部・大気、水環境課による環境教育 ※海ゴミ問題をテーマに授業を実施	出前授業等をとおして、これまで学習や体験してきたことが、自身の環境保全や共存の取組とつながることで、意欲関心が高まり、主体的活動となった。 日常の環境分野における学習活動内容や体験活動等、出前授業をどのように関連付けながら、児童生徒の主体的な取組のつなげていくかの検証が必要である。
沿岸環境再生事業	SDGs未来都市推進室	アマモ場再生事業【令和2年度実績】過去再生事業エリアでのモニタリング4回 種採取エリア現地確認　船上確認2回 企業連携クリーンアップ活動【令和2年度実績】2回	気候危機により海の状況も悪化を辿る中、海草・海藻への影響も心配される。漁業者、研究者等とも意見交換・討論をしながら、再生方法の検討を継続する必要がある。未来を担うこどもたちに、海の豊かさを体感するための干潟観察会等を関係団体と連携し進めていく。海洋プラスチックごみ問題への取組として、海へ流出していく前の阻止活動として、海以外でのクリーンアップ活動による啓発活動も検討していく必要がある。